

## 組織力高め処遇改善へ

組合の平成 31 年新年互礼会に約 90 人が出席

組合の「平成 31 年新年互礼会」が 1 月 9 日、大阪市のリーガロイヤルホテルで来賓、会員、賛助会員ら約 90 人が出席して開催され、新年のスタートを祝福するとともに今年 1 年の一層の飛躍を誓いました。

冒頭で挨拶した岩田理事長は「今年はキャリアアップシステムや社会保険未加入対策、外国人建設労働者の受け入れ拡大など目まぐるしい一年になるが、組合としては新しい時代が変わっていくのだという思いで頑張っていきたい」と挨拶。さらに「これからはブロック単位で組織としてまとまっていく必要がある。我々の目的は職人の処遇改善の実現であり、そのためには組合員の増強に努め組織力を高めることが重要だ」と力強く呼びかけて挨拶を締めくくりました。

引き続き、来賓として古阪秀三立命館大学客員教授・建築社会システム研究所長、中山泰秀衆議院議員、國重徹衆議院議員の各氏から祝辞が寄せられた後、組合の中川副理事長の発声により全員で乾杯し祝宴へと移りました。そして、和やかな歓談が続いた後、戸田副理事長の閉会挨拶と大阪締めで散会となりました。

